

「私たちには音楽がある」  
決して屈さぬウクライナの魂

# Beethoven's Ninth

## 「第九」

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

National Philharmonic Society of Ukraine Kyiv

指揮:アントニー・ケドロフスキー

+

レザン「第九」合唱団

【プログラム】 ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」  
ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付き」

2023年12月24日(日) レザンホール 大ホール  
開場13:30/開演14:00

全席指定:一般6,000円 高校生以下3,000円

チケット発売日:9月23日(土) 午前10時~ Tel:0263-53-5503

\*発売初日の窓口販売はありません

Web:<https://www.raisin.or.jp>

Raisin Hall

主催/一般財団法人塩尻市文化振興事業団  
後援/塩尻市・塩尻市教育委員会

# Beethoven's Ninth

「私たちには音楽がある」決して屈さぬウクライナの魂。  
「第九」「新世界」二つの第九で、やがてくる歓喜の世界を歌い上げる!

数多くの来日オーケストラあれど、12年もの間2年おきに必ず姿を現しその都度名演を繰り広げて再演を求められる団体は他にありません。2005年の初来日以来毎回絶賛を博し、「スラブ最高のオーケストラ」と評価を確立したウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団。前回2019年のツアーでは何とベートーヴェン「第九」、ドヴォルザーク「新世界より」を組み合わせた豪華プログラムで話題となり、武蔵野市民文化会館などではチケット発売後2時間で売り切れるソールドアウトの最速記録を樹立して担当者を仰天させました。肥沃なる大地ウクライナはオISTRAフ、ハイフェッツ、コーガン、ミルシテイン、ホロヴィッツ、リヒテル、ニコライエワ等近代音楽史上の大巨匠を生み出してきた音楽史上の要衝で、チャイコフスキーやプロコフィエフもウクライナにルーツを持ちます。巨匠の流れをくむ音楽家が奏でる調べはどこまでも熱く、いまこの時、不撓不屈の魂を音楽に乗せて届ける「新世界」には涙を禁じえません。

## Profile

### アントニー・ケドロフスキー (指揮) Antonii Kedrovskiy, Conductor



1994年キーウ生まれ。5歳でヴァイオリンを始め、2004年よりキーウのリーセンコ音楽院で学ぶ。12年にはチャイコフスキー音楽院に入学し、ヴァイオリンに加えて指揮をニコラ・ジャジュラ、ロマン・コフマン、アリン・ヴラセンコ等のもとで学ぶ。17年にはエストニアのタリン音楽院でイリヤ・ムーシンの高弟ユーリ・アルパーテンに指揮を学ぶ。その後ドイツのハノーファーとウィーン芸術大学にて研鑽を積み、20年にはウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団のアシスタントコンダクターに任命された。22年より副指揮者を務める。これまでにキーウ・ソロイスツ、エストニア国立歌劇場管弦楽団、タリン室内管弦楽団等に客演するほか、巨匠ヴァレリー・ソコロフをはじめ、ヒューゴ・ティッチアーティ、オレグ・クリサ等と共演を行っている。

### テチアナ・ガニーナ (ソプラノ) Tetiana Ganina, Soprano



チャイコフスキー国立音楽院(キーウ)を卒業後、ウクライナ国立歌劇場のソリストを務める。ルイセンコ国際音楽コンクール準優勝、アゼルバイジャン国際音楽コンクール優勝、ビルバオ国際音楽コンクール第3位、パロッティ国際音楽コンクールデビュー賞獲得他、優勝・入賞多数。これまでにドイツ、スイス、アメリカ、デンマーク、日本等でツアーを行っている。

### ドミトロ・クズミン (テノール) Dmytro Kuzmin, Tenor



2005年チャイコフスキー国立音楽院(キーウ)を卒業。ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団ほかウクライナの主要なオーケストラに客演するほか、イタリアオペラを中心に幅広いレパートリーを有しウクライナ国立歌劇場のソリストとして活躍している。これまでにドイツ、オーストリア、スイス、オランダ、デンマーク、ポーランド、日本、タイ、チュニジア、ウズベキスタン等でツアーを行っている。ウクライナ名誉音楽家。

### アンジェリーナ・シュヴァツカ (アルト) Anzhlina Shvachka, Alto



チャイコフスキー国立音楽院(キーウ)で声楽を学ぶ。アゼルバイジャン国際コンクール第3位、イワン・アルチュフスキー国際コンクール(ウクライナ)やクラウディア・タエフ国際コンクールで準優勝を果たしたほか、モンリオール・オペラフェスティバル、バルリオーズ音楽祭に招聘され絶賛を博している。93年以來ウクライナ国立歌劇場のソリストを務めている。

### セルギイ・マゲラ (バリトン) Sergii Magera, Baritone



1997年リヴィウ州立音楽院を卒業。以来、リヴィウ歌劇場のソリストを務めるほか、98年よりウクライナ国立歌劇場のソリストを務める。ハンガリーでの国際音楽コンクール、マリア・カラス国際コンクール、ビルバオ国際音楽コンクール等で入賞を繰り返してキャリアを積みと共に、ドイツ、イタリア、スイス、フランス、オランダ、アメリカ等で演奏活動を行う。2016年にはイタリアの星勲章、17年にはウクライナのメリト勲章を授章。ウクライナ人民芸術家。

### ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 National Philharmonic Society of Ukraine Kyiv

1995年ウクライナのキーウに本拠を置く国立フィルハーモニー協会の専属オーケストラとして創設される。同国の巨匠ロマン・コフマンの指導下、1996年には若手の第一人者ニコラ・ジャジュラが音楽監督に就任、フィルハーモニーのライセンコ・ホールで年間50回以上の定期公演を行うほか、旧ソ連を含むヨーロッパ全土から客演に招かれている。特にドイツとフランスでは近年人気が高く、ベルリン、ミュンヘン、ケルンの各フィルハーモニー、バイロイトの大劇場等でチャイコフスキー、ラフマニノフ等を演奏するほか、数日間に渡ったロワールの音楽祭コンサートは、ハイビジョンでフランス全土に放映され大きな反響を呼んだ。ペンデレツキ、テオドラキス等の作曲家、クレーメル、パシュメット、クライネフ、ヴィルサラーゼ、バドゥラ・スコダ、アッカド等著名演奏家との共演も数多く、東欧における最も優れたオーケストラとして評価を確立している。

清住真達(合唱指導) Kiyosumi Masamichi 国立音楽大学声楽学科卒業

合唱:レザン「第九」合唱団(公募)

## Program

ドヴォルザーク Antonin Dvorak 交響曲第9番「新世界より」  
ベートーヴェン Ludwig van Beethoven 交響曲第9番「合唱付き」